

ハートがたくさんの村づくり

差別のない、人への思いやりを大切に、明るい南阿蘇村をつくりましょう。

人権とはなんですか？

人権とは「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」あるいは「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持っている権利」であって、だれにとっても大切なもの、日常の思いやりの心によって守られなければならないものです。今回も、「子どもの虐待」についてお伝えします。



子どもの虐待について
あなたにできること

虐待を受けた子どもたちの
自立を支援する輪に協
力してください。

(先月号のつづき)

以前は、子どもたちの生活を
引き受け、職場を提供しながら
育ててくれる「職親」さんがた
くさんいました。現在でも、虐
待を受けて自分の家に帰れない
子どもを受け入れてくれる職場
が増えていきます。社宅を提供し
てくださり、子どもを支えてく
れる会社もあります。

子どもたちが社会の中で自立
し、しっかりと生きていけるよ
うに、どうか、この子どもたち
に門戸を開き、その能力をあな
たの職場で開花させてあげてく
ださい。

虐待を受けた子どもたちの
親代わり（里親）になっ
てみませんか。

虐待を受けた子どもたちは、
大人を信頼できなかったり、自
分のせいだと自分を責めてし
まったりしてしまうことがよく
あります。彼ら自身の心が元氣
を取り戻し、自分や人に対する
信頼を回復するには、安心して
生活できる環境にいて、心の拠
りどころのベースとなる、じつ
くりと特定の一人の大人との深
い心の絆をつくることがとても
大切です。そして、自立した後
にはいつでも相談に帰れる心の
安全基地がなくてはなりません。

本来ならば自分を愛して守っ
てくれる親の元でその回復がで
きればいいのですが、親の元で
は安心して生活ができる環境が
なかったり、親と一緒に暮らす
ことが危険な場合もあります。

そこで「里親」という制度が
あります。自分の家庭で一緒に
暮らし、安全を保証し、深い絆
をつくることで、その子の回復
と成長・自立のための手伝いす
るのです。

子どもたちの性格や状況は、
一人一人違います。家庭の中に
子どもを受け入れ、そのかわい
らしさや優しさ、育ち、時には
自分ではどうにもならない怒り
の発露を間近に見守りながら地
域の中で一緒に暮らし続けるの
は、うれしいことも、なかなか
大変なときもあります。そのよ
うなとき、里親同士のつながり
や、親戚や地域がまたとない支
えになってくれることが多くあ
ります。また公的にも研修や経
済的な支援、保育所通所などに
ついて柔軟な対応がとられてい
ます。

一人の大人として一人の子ど
もをずっと見守っていくのは、
虐待を受けて生きてきた子ども
への、最大の支援とも言えます。
あなたも「里親」になってみ
ませんか？

※来月も、子どもの虐待につい
て紹介します。

村民みんなで「ハートがたくさん
の村」をつくりましょう。